

改善報告書

令和7年7月30日

1. 大学名：姫路獨協大学

2. 認証評価実施年度：令和4年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：6－3

○自己点検・評価の結果が大学の運営に十分反映されていないため、改善を要する。

4. 改善状況及び結果

基準項目6－3について

自己点検・評価の結果を大学運営等に反映させるため、自己点検・評価に係る年次報告書作成フォーマットの変更を行った。これにより、各学部等が作成する自己点検・評価活動を客観的に示す形式となったため、各学部等において、各基準・項目に対し、改善の必要性を明確に示すことができた。

今後は、当該年次報告書を基に改善点を内部質保証推進会議で精査し、改善計画を学長に提出し、学長から各部署の責任者(学部長他)に改善の指示を行うこととしており、当該年次報告書により、改善事項のチェックが可能となる。【資料6-3①】

この他、各科目に対し授業担当者が毎学期授業評価アンケート内容をもとに対応策を公開している。また、授業評価アンケートとは別に学生による教員の評価アンケートを実施して、ベストティチャー賞を選出し、教員の授業に対するモチベーションUPにつなげており、更に教員間で授業見学を行うことで授業実施のスキルアップを図っている。【資料6-3②③④】

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準6－3の資料

- ・【資料6-3①】年次報告書（学群抜粋）
- ・【資料6-3②】ベストティーチャー賞表彰要項
- ・【資料6-3③】令和6年度第1回FD議事要録
- ・【資料6-3④】令和6年度前期授業参観報告一覧